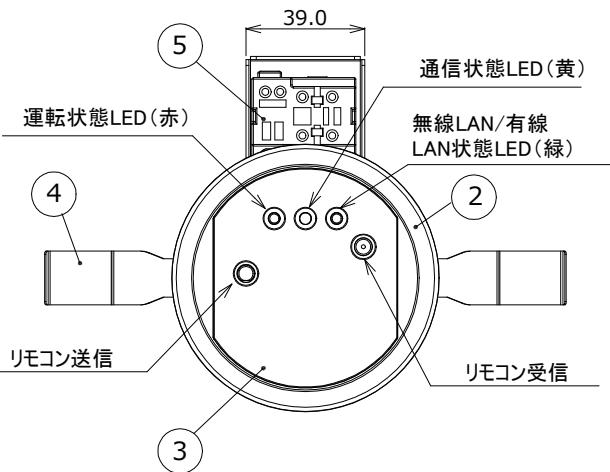
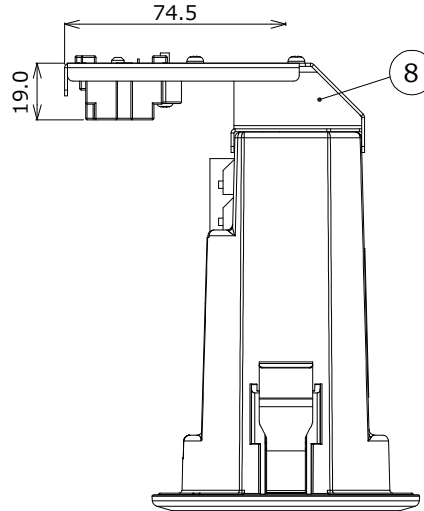
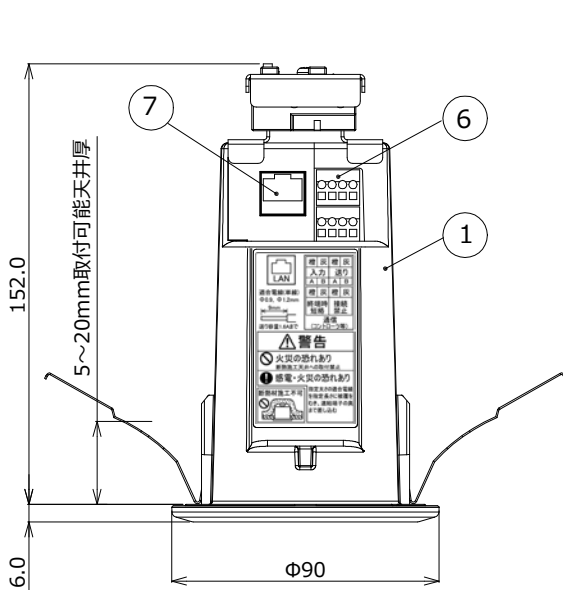
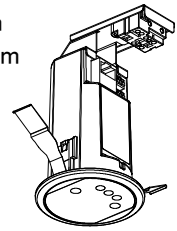


天井埋込形 設備インターフェース機器

天井埋込穴寸法 $\phi 75 \pm 0.2$ mm
 取付可能天井厚 5mm~20mm

※通信線接続図、
 ご使用上の注意 EY25226を参照



仕様

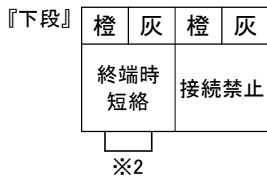
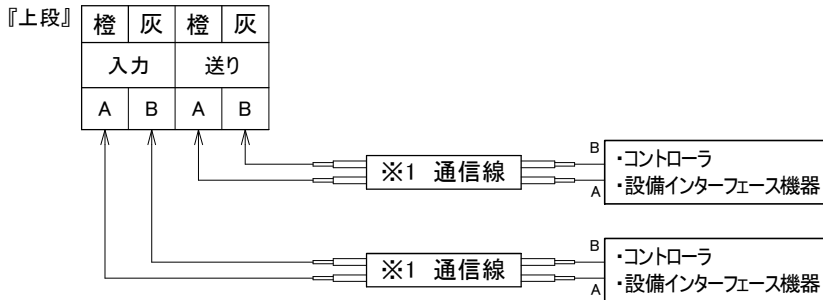
定格電圧 (周波数)	AC100~254V (50/60Hz)	
消費電力	3W	
使用環境	温度: 5~35°C 湿度: 85%RH以下	
使用場所	屋内(但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、腐食性ガス、 振動、結露の恐れのない場所)	
通信仕様	RS485	設備インターフェース機器 ⇔コントローラ間 RS485 115.2kbps (バイト長: 8bit、パリティ: なし、ストップビット: 1bit)
	無線LAN	設備インターフェース機器 ⇔モバイル端末間 IEEE802.11b 2.4GHz帯 1~13チャンネル 通信暗号化 WPA2-PSK 通信可能範囲: 半径20m(見通しの良い場所) ※周囲の環境により通信可能範囲が狭くなる場合があります。
	有線LAN	設備インターフェース機器 ⇔モバイル端末間 IEEE802.3/802.3u 100BASE-TX/ 10BASE-T AutoMDI/MDI-X
システム 構成台数	設備インターフェース機器	1システムに最大5台 (1システムに動作モードが異なる設備インターフェース 機器の混在不可)
	コントローラ	1システムに10台以下
	モバイル端末	設備インターフェース機器1台に2台以下 (3台以上は動作保証はありません。)
対応 コントローラ	MILCO.Sコントローラ(有線タイプ、ワイヤレスタイプ)	
時計バック アップ時間 (目安)	1週間(初期状態: 製品が新品で設置された状態)但し、温度環境や 設置年数によって時間が短くなりますので停電時にコントローラ時計を 確認して、コントローラ時計合せを行ってください。	

検認	8	端子台取付金具	SGCC	1	t=1.0mm	天井埋込形 設備インターフェース機器	
	7	LANポート		1			
	6	通信線端子台	66ナイロン	2	8極		
照査	5	電源端子台	強靱性メラミン樹脂	1	Y-3B(20A送り)	形名	MS851(1/2)
	4	取付バネ	SUS304	2	t=0.5mm	ワット数	3W
大澤	3	カバーパネル	PET	1	マンセル No. N9.0(ホワイ)		質量
	2	カバー	PC+ABS	1	ホワイ	図番	
設計・改定	1	ケース	PC+ABS	1	ホワイ		
	柴田	品番	品名	材料	数	備考	



通信線接続図

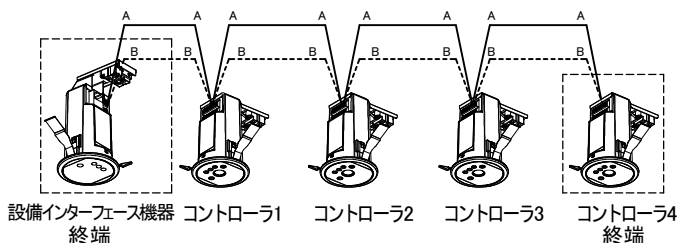
通信線端子台に下図のように通信線を接続してください。



※1 極性あり

※2 通信線の最末端となる機器は、通信線等で短絡させ終端処理してください。

【設備インターフェース機器および複数のコントローラ機器の接続例】



本器とコントローラ間で通信線で接続するとき、極性(A⇔A、B⇔B)を合わせてください。
両端(本器またはコントローラ)2台は通信線端子台の「終端時短絡」を通信線等で短絡させ、終端処理をしてください。

注意: 通信線の配線は送り配線とし、終端処理を必ず行ってください。

(分岐配線・ループ配線を行った場合や終端処理を行わない場合、通信エラーが発生し、設定・操作など運用ができなくなるおそれがあります。)

ご使用上の注意

1. 本器とコントローラで制御する照明器具は必ず当社製信号制御連続調光器具をご使用ください。
2. 本器は、専用アプリをインストールしたモバイル端末(Windows)とUSB赤外線通信器(MS2105)(別売り)で設定します。本器は、対応コントローラと組み合わせて使用することにより、無線LANまたは、有線LANを介してモバイル端末(Windows)でコントローラの操作を行うことができます。
3. 屋内専用機器となっておりますので必ず屋内でご使用ください。ただし湿気の多い場所や、雨水のかかる場所に設置すると、故障の原因になります。
4. 電源工事は、電気工事士の資格者が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本納入仕様書に従い施工してください。
5. 電源は本器専用回路としてください。
6. 電源が切れていることを確認してから、電源線・通信線等を接続してください。
7. 適合電線、配線長は、下記表に従ってください。
10. より線をはんだ上げて使用しないでください。発熱の原因となります。
11. 誤結線や負荷配線を短絡をした場合、故障の原因になります。
12. 内部に電子部品を使用していますので、落下や衝撃を与えると故障の原因になります。
13. 本器をセキュリティーなどの目的(防災・防犯など、人命に関わる用途)には、ご使用にならないでください。
14. 使用する目的により、安全性が要求される場合には、保護装置、保護回路などを設け、単一故障で危険な状態にならないよう安全性を確保してください。
15. 本器及びUSB赤外線通信器(MS2105)の取扱説明書をよくお読みのうえ、据付工事・設定を行ってください。
16. 本器に水や殺虫剤等の化学薬品を直接かけないようにしてください。誤動作や故障の原因になります。
17. 周囲の環境により通信可能範囲が狭くなる場合があります。
18. 電源が切られている場合は設備インターフェース機器の内蔵の時計がリセットされます。ただし、瞬時停電では設備インターフェース機器内蔵の時計はリセットされません。
19. MILCO.Sコントローラと時刻同期するため、本器の時計を補正する必要はありませんが、同期元コントローラの時刻確認を定期的に行い、時刻がずれている場合は「コントローラ時計合せ」を行い、時計補正を実施してください。コントローラを複数台接続している場合、アドレスの番号が小さいコントローラで同期されます。
20. EMCの国際規格であるCISPR規格には、適合していません。

接続電線	種類	配線長
電源線	VVF3 φ1.6mm, φ2.0mm	—
通信線/終端線 ※1	CPEV,FCPEV φ0.9mm×1P	100m以内
	CPEV,FCPEV φ1.2mm×1P	200m以内
LANケーブル	UTPストレートケーブル カテゴリ5以上	100m以内

※1: FCPEV線を使用する場合は、アルミテープの接地工事は不要です。複数のCPEV-S線を使用して接地工事を行う場合は、系統毎に1点接地を実施し、別系統のCPEV-S線のシールドと連結しないでください。別系統のCPEV-S線のシールドと連結すると、通信が相互干渉し、通信できない場合があります。

検認

岩坪

照査

大澤

設計・改定

柴田

8. 接続電線は動力線・高圧線との近接や束線を行わないでください。又、接続電線と動力線・高圧線が平行する時の離隔距離は下表に従ってください。

平行する動力線、高圧線条件	離隔距離
600V以下の低圧動力線	300mm以上
その他の高圧線	600mm以上

9. 本器に上記以外の電線を使用すると、発熱したり接触不良を起こす原因になります。

天井埋込形
設備インターフェース機器

通信線接続図
ご使用上の注意

形名 MS851(2/2)

図番 EY25226-C